

平成26年5月9日（金）
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

記者発表資料

平成26年度 利根川下流河川事務所の事業概要

平成26年度(当初)の国土交通省 利根川下流河川事務所における河川事業のポイントを紹介します。

安全・安心に暮らせる地域のための川づくり

平成26年度 事業のポイント

- 洪水時に流れの妨げとなる河道の掘削
- 無堤地区の浸水解消のための築堤
- 戸田井排水機場の改築
- 湿地やヨシ原の再生

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、茨城県政記者クラブ、
千葉県政記者クラブ、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所
〒287-8510 千葉県香取市佐原イ4149

副所長	新名 秀章	TEL 0478-52-6361 (内線205)
	<small>しんみょう ひであき</small>	
工務課長	宮本 孝行	TEL 0478-52-6361 (内線311)
	<small>みやもと たかゆき</small>	

平成26年度 利根川下流河川事務所の事業概要について

平成26年度は、真に必要な社会資本の着実な整備、安全・環境など当面する課題に重点をおくこととし、質の高い社会資本整備を効率的かつ効果的に推進します。

1. 「安全・安心の確立」として、予防的治水対策の強化等
2. 「美しい自然や良好な景観、自然共生空間の創出」

平成26年度の川づくりのポイント

1. 安全・安心の確立

●洪水を安全に流すために

①河道掘削

洪水を安全に流下させるための河道断面の確保

<茨城県神栖市>

②別所地区築堤・樋管設置

無堤地区の浸水被害解消のための堤防整備及び樋管設置

<茨城県神栖市>

③富川地区築堤・樋管設置

無堤地区の浸水被害解消のための堤防整備及び樋管設置

<千葉県銚子市>

④戸田井排水機場改築

小貝川との合流地点に設置されている戸田井排水機場の改築

<茨城県取手市>

⑤河川維持修繕

河川管理施設の維持管理

<茨城県神栖市～茨城県取手市>
<千葉県銚子市～千葉県我孫子市>

●安全で安心できる暮らしを支える導水路の管理（北千葉導水路）

⑥北千葉導水施設管理

<千葉県印西市～松戸市>

2. 美しい自然や良好な景観、自然共生空間の創出

●清らかな川の流れを目指して

⑦利根川下流自然再生事業

湿地やヨシ原を保全し、自然環境の改善を図る

<千葉県東庄町>

平成26年度予算総括表

事業費(百万円)

予算項目	平成25度事業費 (当初)	平成26度事業費 (当初)	前年度比
河川改修費	3,005	2,989	0.99
一般河川改修事業費	2,615	2,447	0.94
特定構造物改築事業費	390	542	1.39
河川維持修繕費	1,352	1,304	0.96
堰堤維持費	1,008	869	0.86
総合水系環境整備事業費	184	139	0.76
合計	5,548	5,300	0.96

* 上記のほか、諸費等があります。

* 端数はそれぞれ、百万単位で四捨五入しているため、合計が一致しないものがあります。

①河道掘削

洪水を安全に流下させるための河道断面の確保【茨城県神栖市】

1. 目的

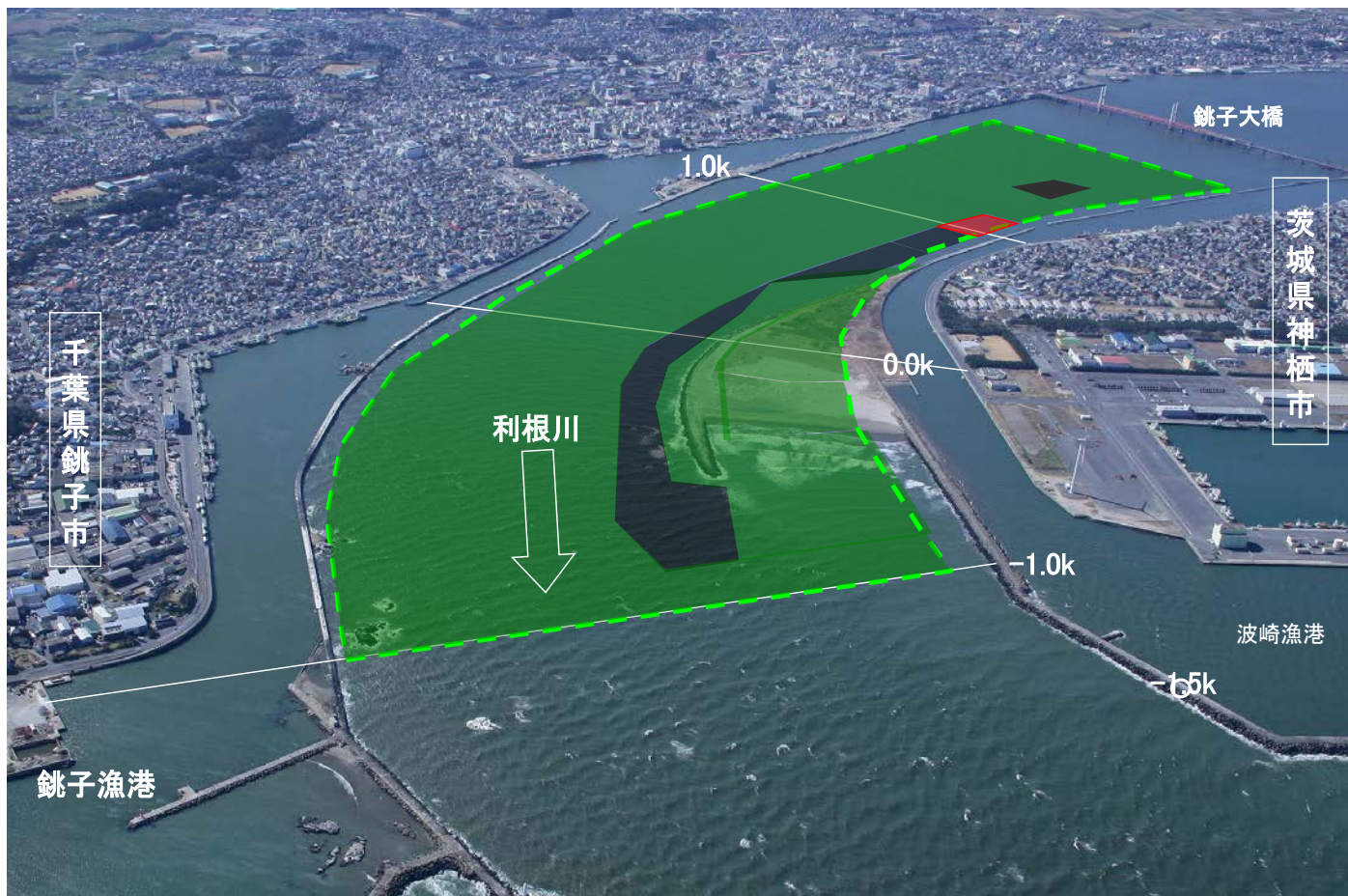
流下断面が不足している利根川河口部において、広範囲にわたり洪水時の水位を低下させ、下流部での浸水被害を軽減するため、河道掘削を実施します。

2. 事業の概要

- ・ 工事内容 : 河道掘削
- ・ 工事着手 : 平成21年度から

○平成26年度

- ・ 事業内容 : 堆積土砂の撤去等



凡例

- : 施工済
- : H26実施箇所
- : H27以降実施箇所

②別所地区築堤・樋管設置

無堤地区の浸水被害解消のための堤防整備及び樋管設置

【茨城県神栖市】

1. 目的

本箇所は無堤部であり、背後地盤も低いことから、早期に浸水被害の解消を図る必要があります。

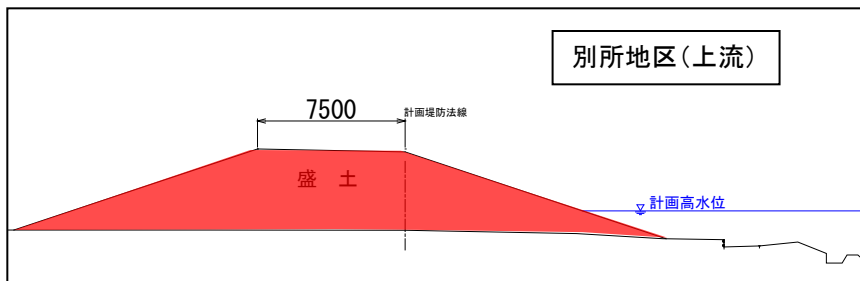
2. 事業の概要

浸水被害を防止するため、延長約700mにわたり堤防を整備します。

- ・ 工事内容：築堤、排水樋管
- ・ 工事着手：平成14年度から

○平成26年度

- ・ 事業内容：築堤・樋管設置



③富川地区築堤・樋管設置

無堤地区の浸水被害解消のための堤防整備及び樋管設置

【千葉県銚子市】

1. 目的

本箇所は無堤部であり、背後地盤も低いことから、最近10ヶ年で3回の家屋浸水が発生しています。また、平成23年3月11日の震災においては、津波による浸水被害も発生しており、早期に浸水被害の解消を図る必要があります。

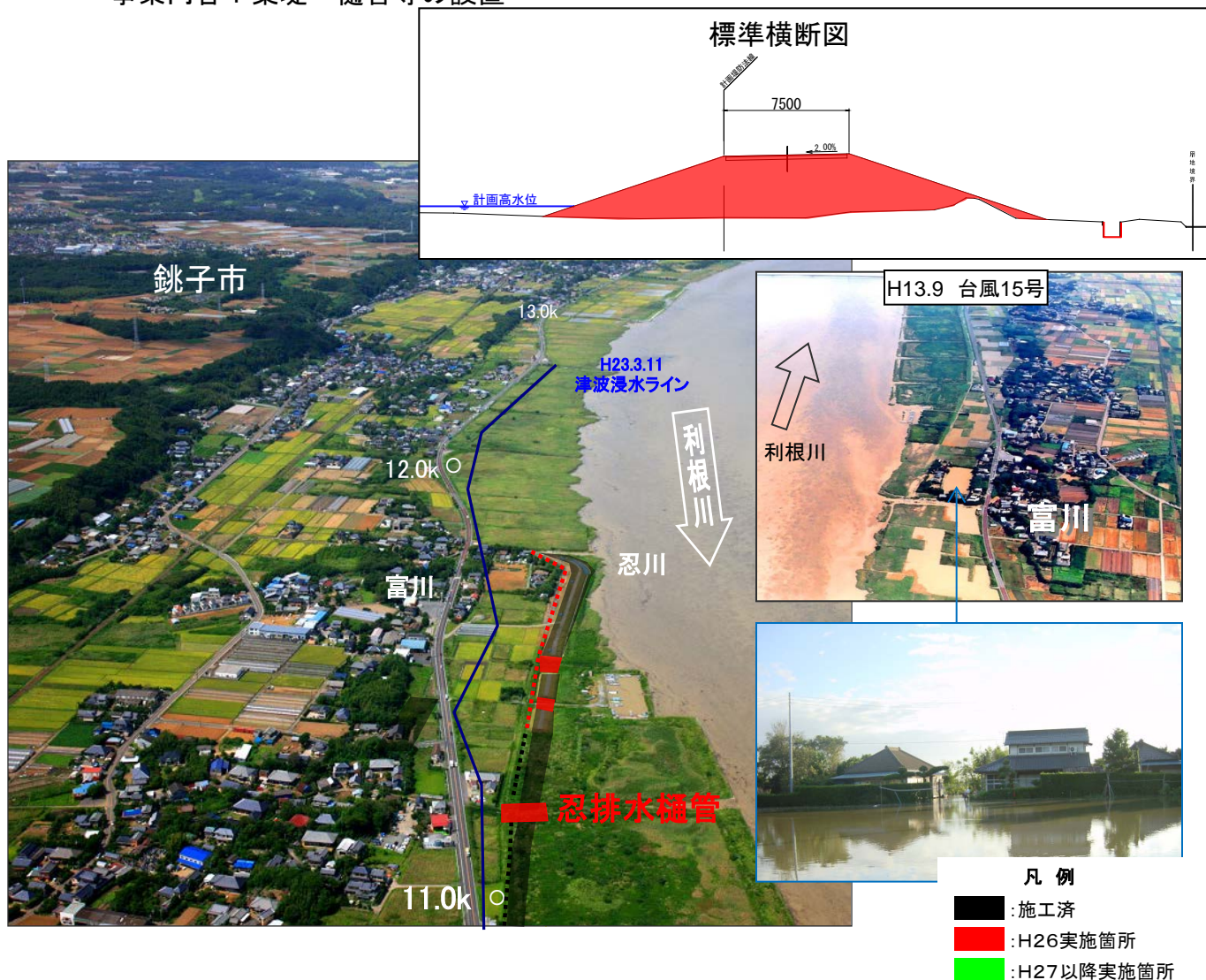
2. 事業の概要

家屋浸水を防止するため、延長885mにわたり堤防を整備します。そのうち、平成25年度までに上流部の630m及び下流部の185mの堤防が概成しています。

- ・ 工事内容：築堤、樋管設置、堤脚水路
- ・ 工事着手：平成18年度から

○平成26年度

- ・ 事業内容：築堤・樋管等の設置



④戸田井排水機場改築

小貝川との合流地点に設置されている戸田井排水機場の改築 【茨城県取手市】

1. 目的

小貝川の支川北浦川流域は、利根川と小貝川に囲まれた標高の低い地形を呈しており、これまでも頻繁に家屋等の浸水被害が発生しています。

小貝川との合流地点に設置されている戸田井排水機場（昭和38年設置）は、稼働時間が長く、施設の老朽化が著しいため、改築を実施します。

2. 事業の概要

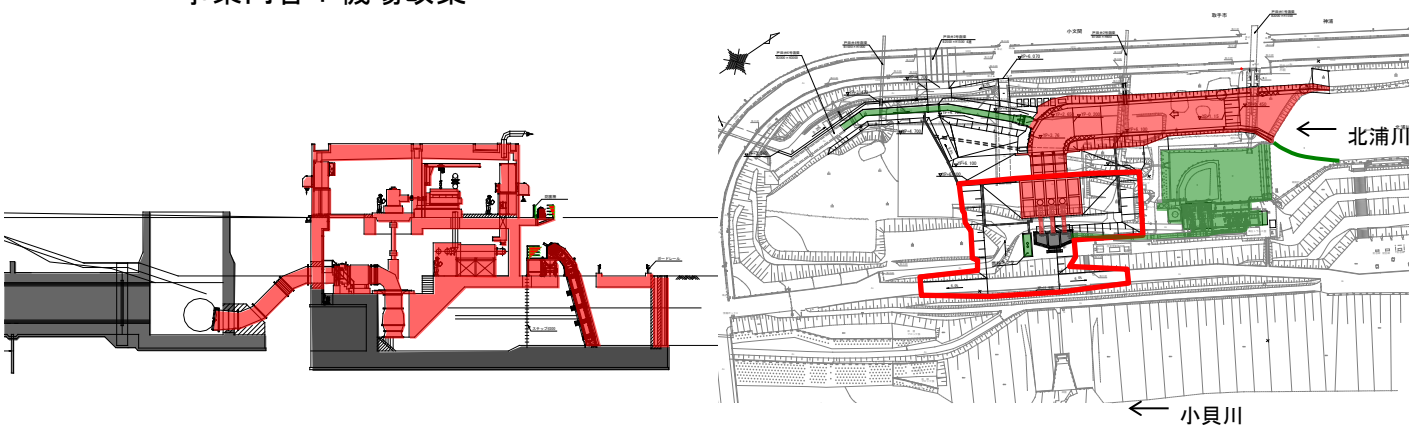
戸田井排水機場改築により、排水機能の保持を図ります。

- ・ 工事内容：排水機場の改築
- ・ 工事着手：平成25年度から

○平成26年度

- ・ 事業内容：機場改築

凡例	
■	: 施工済
■	: H26実施箇所
■	: H27以降実施箇所



⑤河川維持修繕

河川管理施設の維持管理（維持修繕・点検等）

【茨城県神栖市～茨城県取手市】
【千葉県銚子市～千葉県我孫子市】

1. 目的：利根川下流部の直轄管理区間は101.9kmという非常に広い範囲であり、流域住民の方々の財産を守るために設置されている河川管理施設（堤防・護岸・水門・樋管など）が多く存在します。
こういった河川管理施設に異常が発生すると、破堤・氾濫などの重大な被災を招く恐れがあり、このような被災を未然に防ぐために河川維持修繕業務として河川管理施設の健全性を維持を目的とした河川管理及び点検・修繕・パトロール等を実施しています。

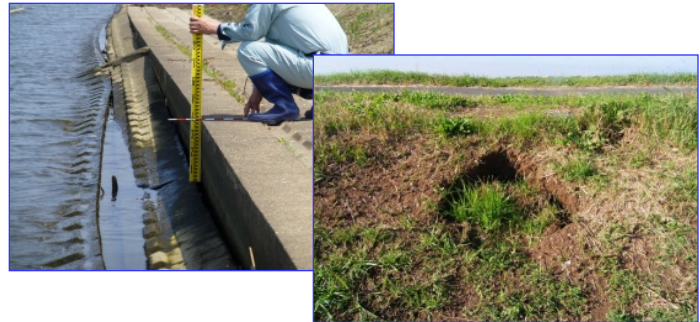
2. 内容：河川維持修繕業務として実施している主な内容は、下記のとおりです。

1) 堤防除草

腐食した枯草による堤体弱体化の防止、及び堤体の変状を早期発見できるように除草を実施しています。

2) 護岸・堤防などの修繕

護岸や堤防の機能を維持するために、破損が発見された場合には、修繕を実施しています。

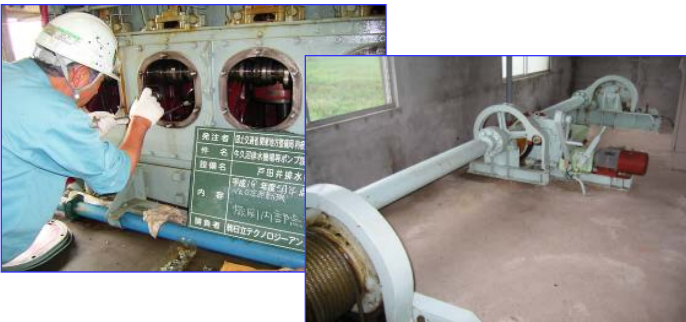


3) 水門・樋管等の点検

動作確認や劣化等の定期的な点検を実施し、異常が発見された場合には、修繕を実施しています。

4) 河川区域・占用等の管理

河川区域内の日常的な管理や、占用者との調整等を実施しています。



5) 水質事故・不法投棄対策

河川内への油等の流出、また河川区域内での不法投棄が発見された場合には、環境・景観等への影響を考慮し、除去作業を速やかに実施しています。

6) 河川巡視・堤防点検

河川管理施設の変状や、水質事故・不法投棄の早期発見などを目的として、河川巡視を日常的に実施し、また職員等が徒歩により堤防点検を実施しています。



⑥北千葉導水施設管理

手賀沼等の内水排除、都市用水の供給及び水質改善

【千葉県印西市～松戸市】

1. 目的

北千葉導水路は、利根川下流部（利根川河口から75.5km地点）と江戸川（江戸川河口から24.3km地点）を結ぶ延長28.5kmの流況調整河川です。昭和49年4月建設に着工し、平成12年3月事業完成、平成12年4月から運用を開始しました。

北千葉導水路の目的は、次のとおりです。

- (1) 手賀川及び坂川流域の内水排除
- (2) 江戸川における都市用水の確保
- (3) 手賀沼等の水質浄化

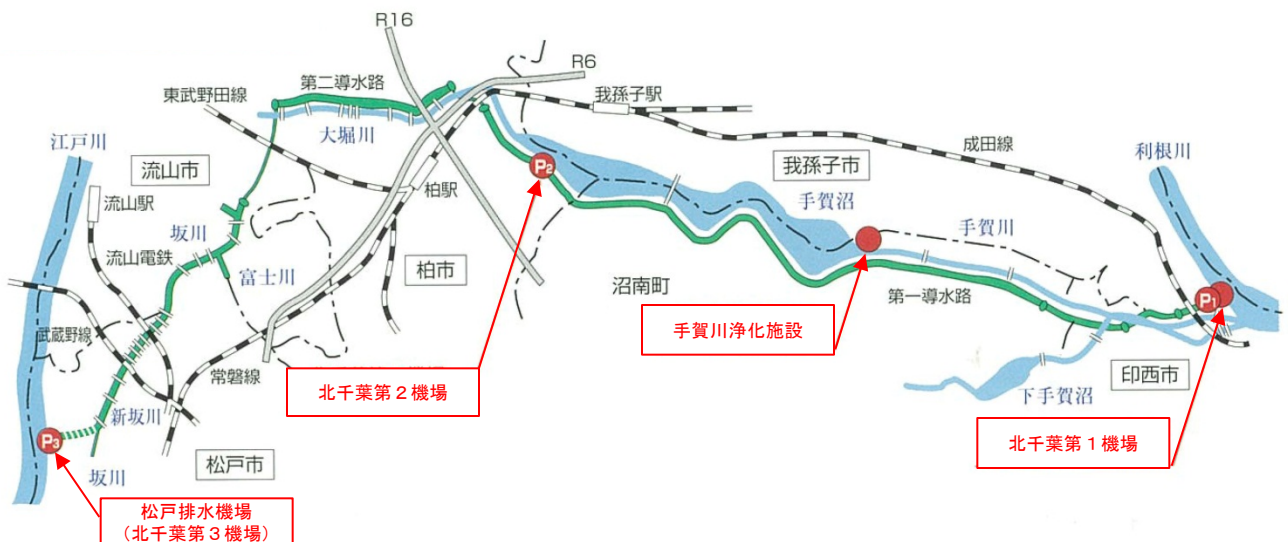


2. 施設の概要

- ・北千葉揚排水機場（北千葉第1機場）は、利根川から都市用水及び浄化用水合わせて最大40m³/sを揚水し北千葉第2機場へ導水します。また、洪水時は利根川へ最大80m³/sの内水排除を行います。
- ・北千葉第2機場は、手賀沼へ最大10m³/sの浄化用水を注水するとともに、江戸川へ最大40m³/sの導水を行います。
- ・松戸排水機場（北千葉第3機場）は、洪水時に江戸川へ最大100m³/sの内水排除を行います。（江戸川河川事務所管理）

○平成26年度

- ・管理内容：
北千葉導水路運転、施設維持管理



⑦利根川下流自然再生事業

湿地やヨシ原を保全し、自然環境の改善を図る

【千葉県東庄町】

1. 目的

ヨシ原を保全することにより、オオセッカなどの希少種の生息環境が保全されます。また、水域では底生動物の増加など多種多様な生物の保全・個体数回復が期待できます。

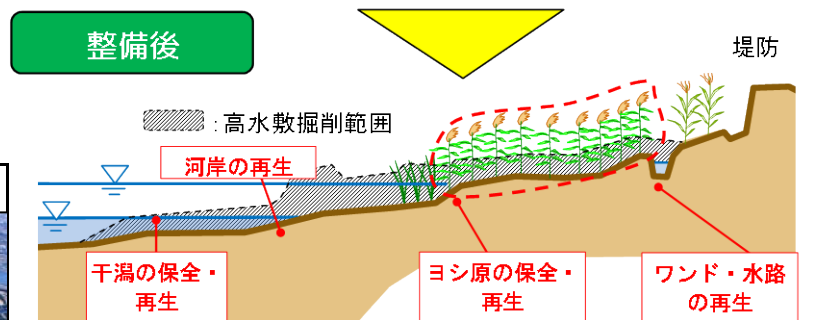
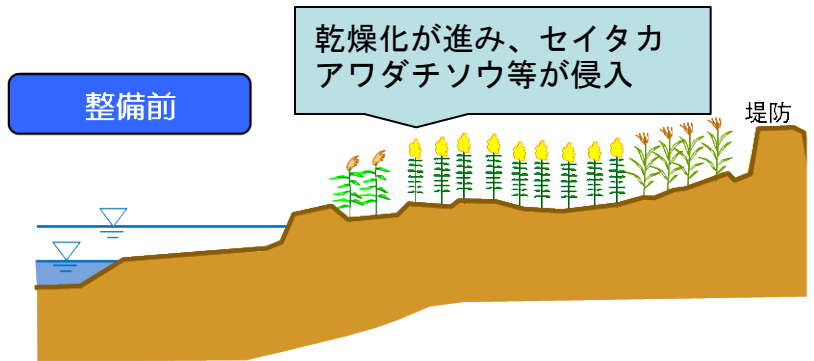
2. 事業の概要

利根川下流域は湿地や水路の入り組んだ多様な環境を形成し、これを特徴づけるヨシ原は河川敷だけで400haを有し、本州では渡良瀬遊水地に次いで2番目、河川のヨシ原としては国内最大級です。また、このヨシ原は、国際的な絶滅危惧種のオオセッカの繁殖・越冬地となっています。

近年は、高水敷の乾燥化によりセイタカアワダチソウ（外来種）などの侵入、干潟・湿地の減少、ヨシ原の面積減少等が生じ、これら特徴有る生物の生息環境が損なわれつつあります。

このかけがえのない多様な環境を保全・再生し、オオセッカなど生物が生息・生育できる干潟・湿地やヨシ原を保全・再生します。

- ・ 工事内容 : 自然再生地整備（高水敷掘削工）
- ・ 工事着手 : 平成25年度から



平成26年度実施箇所